

景観文化財学

建造物

No.	書名 / 論題	編著者	資料の解説 / コメント
127	現代の建築保存論	鈴木博之 著	建築保存の論考を集める。建造物の保存と文化財保護法との関わり、近現代の歴史的建造物と都市との関わりなど。
128	保存原論：日本の伝統建築を守る	鈴木博之 著	建築史家が、伝統的建造物の保存の記録をまとめる。建造物の現地保存という課題は、人と地域の歴史に関わっています。
129	建築遺産の保存その歴史と現在	ユッカ・ヨ キレット 著 ；秋枝ユミ イザベル	歴史的建造物が、地域社会によってどのように扱われ、破壊や保存の経緯をたどって来たのか。ヨーロッパの建築遺産の史の変遷をたどる。
130	世界の野外博物館：環境との共生をめざして	杉本尚次 著	急速に失われてゆく民家などを保存・公開する野外博物館。野外博物館の歩みと意義、取組みを解説します。類書に『世界の民家園：移築保存型野外博物館のデザイン』
131	野外博物館の研究	落合知子 著	野外博物館について、遺跡、伝統的建造物群、景観地、近代遺産等を含めて捉える。地域歴史遺産の保存活用という面から、町おこしの接続も見通す。
132	産業遺産とまちづくり	矢作弘著； 末松誠写 真	産業遺産を実際に動態保存し、地域の資源として活用する試みを紹介。類書に『産業化の歴史と景観』、『産業遺産：「地域と市民の歴史」への旅』、『産業遺産の記録』
133	産業遺産を歩こう：初心者のための産業考古学入門	平井東幸、 種田明、堤 一郎編著	日本に残るさまざまな産業遺産を紹介。産業遺産を研究する「産業考古学」の入門書です。
134	日本の産業遺産：産業考古学研究	山崎俊雄、 前田清志 編	産業革命以降の技術史を回顧しながら、日本の技術史と産業考古学の発達を考察している。1986年刊『日本の産業遺産』の新装版。
135	日本全国産業博物館めぐり：地域の感性を伝える場所	武田竜弥 編著	産業に関する資料を系統的に収集・保存・展示する博物館を取り上げ、産業史や企業史とともに紹介しています。
136	登録有形文化財：保存と活用からみえる新たな地域のすがた	佐滝剛弘 著	登録有形文化財の建造物等を網羅的に紹介。地域づくり、観光の資源として側面も押さえる。類書に『むかしの家に学ぶ：登録文化財からの発信』
137	歴史的町並み事典	観光資源 保護財団 編	城下町、宿場など、列島各地に残る歴史的町並みを集成し、解説を加えた事典です。類書に『証言・町並み保存』、『歴史ある建物の活かし方：全国各地119の活用事例ガイド』
138	芦屋の和洋館よとわに	福嶋忠嗣 著、芦屋 洋館建築 研究会編	住宅地で知られる芦屋には、近代の和洋館が沢山ありました。消えゆく建物を惜しみ、その建築を記録しています。類書に『旧グッゲンハイム邸物語：未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし』、『歴史のなかの上ヶ原：西宮市上ヶ原、古墳から震災まで』
139	ヴォーリズ六甲山荘物語	清水彬久 〔ほか〕編	阪神間にはいくつもの洋風建築が残され、ヴォーリズが建てた六甲山荘もその一つです。近代にレジャーの地として発見された六甲を代表する山荘を紹介。
140	モダニズムの記憶：建築でたどる北摂の近代	池田市立 歴史民俗 資料館編 集	阪神間モダニズムとは何か。池田市などの近代建築を紹介し、戦前の阪神間の社会文化的特徴を考えます。
141	ル・コルビュジェは生きている：保存、再生そして世界遺産へ	南明日香 著	世界遺産、コルビュジェの現代建築。建築を歴史の証人ととらえ、保存再生へと取り組むフランスの活動を紹介します。
142	重文民家と生きる	全国重文 民家の集 い編著	保存されている民家には、人々の長い暮らしが刻まれています。保存に悩みつつ民家に住まう人たちの物語。
143	よみがえった茅葺きの家	いるか設 計集団編	神戸市北区に残る江戸時代の大前家住宅を、移築再生した記録。茅葺き民家の登録有形文化財の移築例として貴重。
144	文化財建造物の保存修理を考える：木造建築の理念とあり方	文化財建 造物保存 技術協会 監修・編集	古社寺などの建造物の保存・修理の歴史や事例、理念、あり方を議論したシンポジウム記録です。
145	古建築を復元する：過去と現在の架け橋	海野聡著	原始古代への想像をかきたてる復元建物。発掘遺構などの僅かな資料をつなぎ合わせ、古建築を復元する様子を紹介。類書に『発掘遺構から読み解く古代建築』

146	唐招提寺の歴史と景観に関する調査研究	奈良文化財研究所 著作	奈良・唐招提寺の復元のため、寺院の歴史や景観がどう形成されてきたかを調査した報告書。
147	文化遺産と「復元学」：遺跡・建築・庭園復元の理論と実践	海野聡編	さまざまな遺跡や庭園などの建築物はいかに復元しうのか。多くの実例から考察。
148	建築と都市の保存再生デザイン：近代文化遺産の豊かな継承のために	田原幸夫、笠原一人、中山利恵編；石田潤一郎〔ほか〕著	近代建築の保存再生をどう進めるか。歴史と現在の調和を求める建築学の模索。
149	木造建築遺産保存論：日本とヨーロッパの比較から	マルティネス アレハンドロ著	木造建築をどう保存していくか。建築の文化的意義や完全性などの理念を踏まえつつ、具体的手法を探ります。
150	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人著	破壊や場当たりのな改変が増すなか、建造物の調査・研究・保存の方法を具体的に解説。
151	発掘the OSAKA	酒井一光著	歴史的建築物から、街角の小さな建物まで、独自の視点で選んだ大阪の建築を紹介。
152	日本の歴史的建造物：社寺・城郭・近代建築の保存と活用	光井渉著	明治時代以降に進んできた、建造物の価値の発見、保存や復元のプロセスを具体的にたどります。
153	「近代化遺産」の誕生と展開：新しい文化財保護のために	伊東孝著	近代化遺産とは何か。概念と、保存の現状、これからの課題を整理しています。
154	古建築調査ハンドブック	山岸常人、岸泰子、登谷伸宏著	古い建物の歴史的・文化的価値の調査は、どのように行うのか。寺社・民家など、古建築の歴史的・文化的価値や特質を調査する際の、調査項目・方法の要点を簡潔に解説する。
155	生きつづける民家：保存と再生の建築史	中村琢巳著	民家、街並みなど、古くからの古建築がどのように維持されてきているのか。その仕組みをあきらかにする。
156	復元思想の社会史	鈴木博之編	近世から近代へ、歴史の要請のなかで行われてきた復元の諸相。変化する社会、歴史観と建築の復元との関係を読み解きます。